児童に見られるつまずき

　考えたことの中から書くことを決め、構成全体の効果を考えて書くことができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　助言のポイントを示し、根拠の妥当性や理由付けについて視点を明確にしてグループで助言し合うことで、構成全体の効果を考えながら書くことを決めることができるようになる

指導事例集ｐ．４１

１　学年・単元名　　第６学年　説得力のある意見文を書いて、お別れ遠足の思い出を作ろう

『未来がよりよくあるために』（書くこと）

２　単元目標

お別れ遠足への自分の意見が説得力を持つように、具体例や資料を集め、文章全体の効果を考えることができる。

３　単元の内容

参考：ワークシート

　　授業の様子

　・よりよいお別れ遠足を考える。

　・効果的な構成を考えて意見文を書く。

　・説得力のある根拠や構成について助言し合う。

・意見文を読み合い、お別れ遠足をどうするか決める。

参考：成果物

４　本時の目標

相手の主張にあった助言をしたり、もらった助言の中から自分の主張にあったものを選んだりすることができる。（書くイ・ウ）

５　本時の展開

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | 指導・支援**太字：つまずきに対する手立て** |
|
| １　前時の学習を想起し、本時の学習課題を確かめる。協力して構成表をパワーアップさせよう構成表２　ひとりで構成表への付け足しを考える。ワークシート使用　　３　グループで、構成表への助言をしあう。（１人５分）参考：授業の様子４　助言をもとに、ひとりで構成表の付箋を整理する。ワークシート使用５　パワーアップしたところはどこかを全体で交流しあう。（振り返り） | ・説得力のある文章にするためのポイントを示す。・「はじめ」と「終わり」は青、中は緑、反論はピンクに書かせる。**・助言のポイントを示す。**・助言はすべて黄色い付箋に書かせる。・書けない児童には、友達の意見で納得した意見や、自分と似た意見の近くに同じ内容の付箋を貼らせる。**・友達の考えや意見を尊重するために、話を聞いたり質問したりするという目的を意識させる。****・自分の意見を説得力のあるものにするために必要な付箋を精選させる。**・書けた児童から発表させる。・誰の助言がヒントになったのかも発表させる。 |

６　評価規準

・友達の主張したいことを踏まえて、意見文に説得力をもたせるために足りない部分を考えて、付箋を書いている。

・自分なりに考えて付箋を書いている。

・納得した意見や自分と似た意見に重ねて付箋を貼ることができる。